

日時：令和6年11月14日（木）

午後2時30分～4時30分

会場：小山高等学校 第一応接室

1 開会（校長挨拶）

- ・山下委員欠席
- ・40周年式典、オープンスクールの出席御礼

2 授業見学（全日制・6時間目） 分校の様子も見学

3 学校の近況報告

- (1) 生徒の活躍（新聞記事）40周年、中学校・小山町・海寧市との交流
- (2) 分校の取組 昼食交流会、行事での交流、小山高校との関係は良好
- (3) 定時制の取組 少人数授業、明確な進路希望、きめ細かい指導と各種検定取得
- (4) 全日制の取組（スライド）

4 学校経営についての意見・助言、学級減の経緯等説明

- ・地域の子どもの減少
- ・他地区における学校減に向けた動き。地域協議会では、県教委に対し具体的な提案が求められた。明確な構想があれば各学校は準備を進めやすい。
- ・小山町が高校を支援する意向を示している一方、生徒の多くは御殿場市から通学。町の財政との関連。地域では高校の存在が必要とされている。
- ・変化の時は大きく成長できるチャンス。地域のニーズに合致する教育を進めていく。
- ・各生徒が自分の進路を切り開いていく力を育てていきたい。
- ・時間割編成や非常勤職員の確保が難しい
- ・地域も若手不足。
- ・PTA会計や諸会計の減少。交通費や参加費の支援が困難となる。
- ・総合型選抜への支援、公務員志望生徒への指導をいただける機会があるとプラス。
- ・地域の方の支援、ボランティアなど地域の関連団体への支援。
- ・頑張る場所（勉強、部活動等）の整理。
- ・近隣各高の強み。単独の高校でやれることは難しい。
- ・協力団体など、やる気のある生徒の受け入れ糸口から広がっていくと良い。

5 次回の予定

第3回 令和7年2月5日（水）午後3時～午後5時